



校長室だより

R7.1.12. 号

岐阜市立東長良中学校

ただいま紹介いただきました 東長良中学校 校長 平岩 徹でございます。本日はこのような晴れがましい席にお招きを賜り、大変光栄に存じております。ここで、皆さまの多くが卒業された母校の校長として、一言お祝いのご挨拶を述べさせていただきます。改めて、二十歳を迎えることになった皆様、おめでとうございます。目の前の皆さんの凛々しく、晴れやかな表情を前にしますと、卒業後も地に足をつけ着実に成長されていることが伝わり、次世代の人を育てる立場としてとても心強く感じます。

本日も明日、各地で成人式もしくは二十歳を祝う会が開催されております。実施形態は自治体の状況によりさまざま、全市一堂に会するところもあれば、岐阜市のように校区単位で実施されるところもあります。私は岐阜市のような校区単位での開催は、式の規模は小さくなり派手さはないものの、なかなか良いものであると思っております。皆さんが無事に二十歳を迎えることができたことを家族だけでなく、地域の方やともに幼少期から過ごした旧友と久しぶりに再会しつつ、喜び合える。そんなアットホームな集まりだと感じます。中学校は義務教育最後にあたり、大人になる準備の時期として「自立」をめざしています。加えて、生涯にわたって大切にする「友」をつくる。そんな時期です。本日、久しぶりに再会した仲間も多くおられるかとは思いますが、せっかくの再会です。中学校の思い出話や近況報告などされながら、親交を深めていただければと思います。皆さんにとってかけがえのない財産となることと思います。東長良つながりのコミュニティーがいろいろなところからつくられることは、地域にとって大きな財産です。将来、東長良の地でまちづくりや子どもたちの健全育成に携わっていただける方が一人でも多く出てくることを願ってやみません。本校も外部の方々へ学校において、教育活動に参加していただいています。機会があれば、是非東長良中学校においでください。

岐阜市の教育の基本方針は、令和3年度に改定され、「学校・家庭・地域の誰もが生命の尊厳を理解し、互いに心を開く対話を重ね、一人ひとりが価値ある大切な存在として互いに認め合う教育」です。それまでの「夢と希望に満ちた未来の実現に向け、果敢に挑戦できる子どもを育む」から、「いのち」をキーワードに基本方針が変わりました。その意味を皆さんはおわかりのことと思います。本校では、皆さんが卒業されて以降、「一人一人の居場所と幸せを大切にする校風づくり」に継続して取り組んでいます。生徒により、一人一人の居場所と幸せを大切にするためにはどんな心を持てばよいのかを出し合って、おおよそ4つに集約されました。それらを次の「協優敬恕」という4つの心で表しました。卒業生である皆さんにもこの言葉を紹介させていただきます。

協：互いに助け合う心、優：人の憂いがわかる心、敬：よいところを認め合う心、恕：違いを受け入れ合う心

現在も本校ではこの4つの心を掲げ、一人の居場所と幸せを大切に、いじめによって悲しい思いをする人を出さない取組をしています。私たちが将来にわたってよりよく生きるためにも心がけたい言葉でもあります。皆さんは一人一人の命、存在を大切にするについて、多くのことを経験し、学ばれました。その経験を踏まえて、社会、地域、そして家族の一員として活躍し、幸せな人生を送ってください。

おわりに、皆さんの晴れの門出をお祝い申し上げ、これからのご活躍とご健康を心からお祈り申し上げます。私の式辞と致します。